

令和6年度 事業計画

【基本方針】

内閣府の月例経済報告（令和5年10月）によると、「景気は緩やかに回復している。先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、世界的な金融引き締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念など、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。」とされており、経済情勢を巡る不確実性はあるが、各種政策の効果により景気が持ち直していくことが期待されています。

また、近年の少子高齢化のさらなる進展に伴い、働く意欲のある高齢者が、長年培ってきた知識や経験を活かし、年齢に関わりなく活躍し続けることができる「生涯現役社会」の実現に向けて、シルバー人材センターの役割は増々重要となってきています。

しかし、インボイス制度実施の影響や、センターを取り巻く様々な状況変化を踏まえると、今後の財務状況は、予断を許さない厳しい状況にあると言わざるを得ません。

このような状況であっても、シルバー人材センターの基本理念である「共働・共助、自主・自立」のもと、高齢者の生きがいの充実と福祉の増進を図り、活力ある地域づくりに貢献できるよう、徳島市や関連機関等との連携・協力を強め、会員の増強、就業機会のさらなる拡大、デジタル化の推進事業等、会員、役職員一丸となって、センター事業の安定拡大と持続可能な発展を目指し取り組んでまいります。

【目 標】

- 会員の増強と就業機会の拡大
- 「自主・自立、共働・共助」の理念の推進
- 安全・適正就業の徹底

【基本項目】

1. 高齢者の生きがいと社会参加の促進
2. 普及啓発と就業機会の確保・拡大
3. 安全・適正就業の推進
4. 組織体制の充実強化
5. 指定管理者業務の推進
6. 事業経営基盤の確立
7. デジタル活用推進

I シルバー人材センター事業

1 高齢者の生きがいと社会参加の促進

高齢者の生きがいと福祉の向上を図り、活力ある地域社会づくりに寄与するため、高齢者の入会促進に努め、又、就業上必要な技能及び知識を付与することにより、高齢者の能力や希望を生かした就業機会等を実現し、多様なニーズに応えます。

(1) 会員の入会促進事業

シルバー人材センターの理念に賛同し、自己の知識・経験を生かし、就業を通じて社会参加と、自らの生きがいづくりを希望する、健康で働く意欲のある会員を確保するため、会員及び役職員が一丸となりロコミ運動等を展開し、会員数の目標を次のとおりとします。

目標会員数 1,365人

- ① シルバーとくしまによる会員募集の実施
- ② マスコミを活用したPR活動の実施
- ③ ホームページの拡充によるセンター事業の情報提供の実施

(2) 受託事業等（派遣事業を含む）

就業開拓・促進委員会がとりまとめた、就業開拓・促進活動方針により、産業分類別の就業開拓方法、新規事業の開拓、既存業務の掘り起こしなど、就業機会の確保・拡大に向けた取り組みを推進しています。

このことを踏まえ、会員の知識や経験、技術や技能を生かし、就業ニーズに合った公平な就業提供に努め、つぎの目標とします。

目標就業延人員 120,000人（内派遣事業 45,000人）

目標契約金額 720,000千円（内派遣事業 250,000千円）

(3) 講習会等の推進事業

臨時的かつ短期的な就業に必要な知識及び技能の付与を目的とし、希望職種に就業することを援助するとともに、各職域班における後継者の育成やスキルアップのために、次の事業を実施します。

- ① 剪定班ランクアップ研修
- ② 剪定班新人養成研修
- ③ 草刈機安全使用研修
- ④ 安全運転研修

⑤ 女性会員研修

(4) 相談支援事業

高齢者ニーズ（雇用、就業、ボランティア活動等）に関する相談、情報提供を行うことにより、高齢者の能力や希望を生かした就業等の社会参加活動を実現するために、次の事業を実施します。

- ① なんでも相談の実施（毎月第1・3火曜日）

2 普及啓発と就業機会の確保・拡大

(1) 普及啓発事業

広報活動を通じ、センター事業の理解と認識を高めていきます。多様な媒体を通じて積極的なPR活動を推進し、センターイメージの転換・向上を図って参ります。

また、会員への情報サービスの提供を通して、事業活動への理解と参加、会員相互の親睦の充実を図るため、次の事業を実施します。

- ① マスメディア（新聞、テレビ、雑誌、ラジオなど）活用による広報
- ② 普及啓発活動の推進事業（普及啓発イベント10月・日曜日）
- ③ 報道機関と各種団体等に情報を提供
- ④ 広報誌「シルバーとくしま」の発行（年3回）
- ⑤ ホームページの充実

(2) 就業機会の確保・拡大事業

職員及び会員と役員が一体となり、地域のニーズを的確に把握し、就業機会の拡大及び確保を目的として就業開拓を推進していきます。

社会では急速なデジタル化が進められている中で、シルバー事業においてもデジタル技術の活用は避けて通れないことより、就業情報の取得や就業提供などに、パソコン、スマホ等のデジタル機器を利用するシステム構築推進のため、次の事業を実施します。

- ① 就業開拓・促進委員会の開催（年4回）
- ② 受託事業及びシルバー派遣事業の推進
- ③ ホームページによる就業情報を提供
- ④ 就業提供等デジタル化推進

(3) 女性活動活性化事業

女性会員拡大・就業拡大を推進するため、女性活動推進委員会を中心として、徳島県シルバー人材センター連合会及び県内拠点シルバー人材センターと情報

共有の上、次の事業を実施します。

- ① 女性活動推進委員会の開催（年3回）
- ② 女性会員の入会促進、就業機会の確保
- ③ 女性会員研修開催
- ④ シルバー手作りふれあい教室の推進

3 安全・適正就業の推進

(1) 安全・適正就業推進事業

シルバー人材センター事業では、会員の安全就業が最重要課題であり、会員の就業中の傷害・賠償事故及び就業途上における事故の防止対策を徹底的に取り組む、安全意識の高揚に努めます。

また、受託事業等の就業における内容や形態は、適正就業ガイドラインを基に、適正な内容で受注し、公平・公正な就業提供を行い、コンプライアンスを徹底し、安全・適正就業委員会を中核に推進し、次の事業を実施します。

- ① 安全・適正就業委員会の開催（年6回）
- ② 安全研修会の実施（刈払機）
- ③ 安全就業巡回指導の実施（年4回）
- ④ 分かち合い就業の徹底と就業率の向上推進

4 組織体制の充実強化

シルバー人材センターの理念である「自主・自立、共働・共助」を基本とし、会員による自主的な組織運営を促進するため、次の事業を実施します。

(1) 地区組織活性化事業

- ① 地区長委員会の開催（年2回）
- ② 地区総会の開催
- ③ ボランティア活動の実施

(2) 職域班組織活性化事業

- ① 職域班長会議の開催
- ② 職域班組織の再構築
- ③ 職域就業マニュアルの充実
- ④ 職域班研修の実施
- ⑤ 職域新入会員研修の実施
- ⑥ 総額見積の推進

5 指定管理者業務の推進

徳島市立考古資料館の指定管理者として業務を推進します。

6 デジタル活用事業

会員世代のデジタル格差の解消を目的として、デジタル機器の活用についての講習会を開催します。

既存会員については、フリーランス新法施行後の就業条件の明示・承諾等や就業現場の画像撮影及びその送信や地図アプリ活用、また新システムによる SMS 等の会員向サービス等にスマホ等が活用できるよう、その操作説明なども併せて行っていきます。

- ① スマホ教室の開催
- ② 会員向けスマホ、タブレット等の就業活用講習会

7 その他

(1) 県連合会事業への参画

徳島県シルバー人材センター連合会が行う下記の事業に参画します。

- ① シルバー派遣事業
- ② 有料職業紹介事業
- ③ 役職員に対する研修
- ④ 調査研究事業
- ⑤ 普及啓発活動
- ⑥ 安全・適正就業推進事業
- ⑦ 高齢者活躍人材育成事業
- ⑧ 災害ボランティアネットワーク事業

(2) 全シ協、四シ協事業への参画

(3) 職員の先進地 SC 視察研修の実施

II 法人管理

1 諸会議の開催

センターの管理運営及び事業運営の執行に関して必要な会議を、次のとおり開催します。

会 議 名	開催回数
定時総会	年 1 回
理事会	年 6 回

2 事業経営基盤の確立

センターの事業経営の健全化を推進するには、経営基盤の安定・確立が最も重要であり、中長期的視点に立った財政運営の在り方や理事会を中心とした組織機能の充実、さらには他機関とのネットワークの推進を図ることが不可欠です。

また、さらなる事務局機能の充実を図り、相互的に機能させ健全な事業経営を図るために、次の事業活動に取り組みます。

- ① 総会開催の活性化
- ② 理事会機能の充実
- ③ 財政基盤の確立
- ④ 事務局組織機能の充実